

シーマが 天寿を全う

こどもの国の19歳雄トラ

【沖縄】沖縄こどもの国の動物園で飼われていた雄のトラ、シーマが22日朝、獣舎で死んでいるのが見つかった。年齢は19歳と10カ月で、人間でいえば90代

のお年寄りだった。園は「老衰のために亡くなった」と話している。



人間でいえば90歳の長寿を全うしたシーマ。2011年4月(沖縄)こどもの国提供

たと話している。

1カ月ほど前から体調を崩し、ここ1週間は餌をほとんど食べなくなつた。飼育員は餌を替えるなどしてシーマの食欲が回復するのを待ったが、餌を受け付けなかった。22日午前8時ごろ、飼育員が死んでいるシーマを見つけた。

シーマは1993年5月の生まれ。95年9月に愛媛県のとべ動物園から沖縄こどもの国にやってきた。ただ1頭のトラとして子どもたちの人気を集めてきたが、高齢のため昨年も体調を崩し、生死が危ぶまれることがあった。

比嘉源和園長は「シーマは天寿を全うしたといつていい。20歳の誕生日までは頑張つてほしかった」と残念がっていた。こどもの国は、シーマの骨格標本を作る予定だ。